



人権擁護委員
えの けんじ
恵濃 裕司

おとし末に中国で報告された新型コロナウイルスにより、今なお世界中で感染者が増加しています。

日本でも政治・経済・社会、そして教育のあらゆるシーンで大きな影響を受けましたが、収束の方向へ向かっていません。このような感染症は、過去に2003年のSARS（重症急性呼吸器症候群）や2009年の新型インフルエンザがありました。次々に現れる感染症を引き起こすウイルスや細菌などは、私たちに何を問いかけているのか考えることがあります。

私たちは最近のグローバル化の中で生活しています。世界で起きた禍は瞬く間に我が国や地域へ、感染症に伴うネガティブな問題も同時に発生しており、どう立ち向かうか私たちに与えられた大きな命題と思っています。2003年や2009年の時と同じく、今回の新型コロナウイルスに対して、当初マスクが不足する中、咳をする人を嫌な顔で見ること

とやマスクをしていない人への陰口なども見られました。また感染した児童生徒や教職員を誹謗中傷するネットへの書き込み、さらには偏見や差別に晒されるということが起きました。そうした偏見や差別、恐怖によって私たちが分断されていることにも気付かされました。かつてエイズ患者の人たちが「ウイルスより怖いのは差別や偏見であり、それらによる孤立や孤独である」と言っていたことが思い出されました。

ハンセン病問題も同じです。私はハンセン病患者を誤って強制隔離したことは、近代日本の最も悲惨な歴史の一つとして捉えています。感染症に対する過剰な恐怖が偏見や差別を生み、本人や家族を苦しめてきました。こうした事態に対し、私たちはどう冷静であるべきか、このことについて当事者の皆さんは、私たちに既に何度も警鐘を鳴らしてきました。

人間は同じような愚かな行為を何回繰り返せばよいのでしょうか。確かにウイルスは恐怖であります。そうしたときは過去を振り返り、その声に丁寧な耳を傾けていくことが大切だと思います。

住宅セーフティネット実現のために

合志市居住支援協議会を設立しました

●問い合わせ先 都市計画課 建築住宅班 ☎(248)3855

居住支援協議会の

設立総会を開催しました

11月5日、市役所で市居住支援協議会の設立総会を開催し、会長に荒木市長を選任しました。

居住支援協議会は低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯、被災者など住宅の確保に特に配慮を要する人（住宅確保要配慮者）が、民間賃貸住宅に円滑に入居できるように推進する組織です。

行政と民間団体が連携し、住宅に関する問題から福祉に関する問題まで幅広く事業を展開していきます。

すまいに関するお悩みを

ご相談ください

市居住支援協議会では、「すまい」の課題解決に加え、「すまい方」の課題解決に取り組みしていきます。

住みかえたい、家を借りられない、空き家を処分したいなどの、「すまい」に関することや、住み始めたあとの見守り、食事、生活支援などの、「すまい方」に関する事など、お気軽にご相談ください。



合志市居住支援協議会設立総会

さまざまな団体が連携し、課題解決に取り組みます

▼相談先

市居住支援協議会

(ルーロ合志 202号室)

御代志16611

お客様相談ダイヤル

☎(327)8363

受付時間 午前9時～午後5時

※相談無料です。

歯列矯正を知っていますか



合志アンビー歯科
矯正歯科 院長
むらやま しん
村山 真 先生

今回は、合志アンビー歯科矯正歯科院長の村山真先生より“歯列矯正”についてお話を伺いました。

皆さんは歯の矯正について、どれくらいご存じでしょうか。

歯を矯正し、歯並びをきれいにするにはどんなメリットがあると思いますか。まず、正しく噛んで食べられるようになり、よく噛むことは脳に良い刺激を与え、集中力が増し、健康維持にも有効です。

さらに、歯の間に食べかすがはさまりにくくなるので、虫歯や歯周病になりにくくなります。歯の矯正方法はワイヤー矯正がよく知られていますので、今回はマウスピース矯正のメリット、デメリットをご紹介します。

メリット

①矯正治療に使うマウスピースは透明度の高いプラスチック製なので、見た目を損なうことなく歯並びを整えることができます。

②ワイヤー矯正と違い、取り外しができるので、食後にしっかりと歯磨きもでき、常に口の中を清潔な状態に保てるので、虫歯や歯周病の発生を軽減でき、口内炎など口のトラブルも少ないです。

③歯や歯ぐきを密着度の高いマウスピースですっぽりと包み込む構造なので、ワイヤー矯正で起こりがちな装置が自然に脱落するような心配もありません。

デメリット

①装着時間は1日約20時間以上です。慣れるまではストレスを感じるかもしれませんが、装着時間が守られないと計画通りに歯が動かず、治療期間が延びてしまう可能性があります。自己管理が主体の矯正法です。

②歯にぴったりと密着する装置のため、歯みがき不足のまま使い続けると歯とマウスピースの間に汚れがたまり、虫歯が発生しやすくなります。そのため、飲食後はマウスピースを外して、歯みがきが必要となるほか、装着中は砂糖が入っている飲み物はNGです。ノンシュガーのお茶やコーヒーも歯やマウスピースの着色の原因になるため、お勧めできません。

③極度の出っ歯や受け口、骨格に問題があるケースはマウスピース矯正が難しい場合があります。

歯の矯正は子どもがやるものだと思っていないですか。最近では歯に対する意識の高まりとともに大人の矯正が盛んに行なわれるようになってきました。歯並びにコンプレックスを持っている人も歯を矯正することで最高の笑顔を手にすることができます。

運転免許センターでマイナンバーカードの申請受け付けを行ないます

2月1日から14日(土曜・祝日除く)まで、運転免許センターでマイナンバーカードの申請を受け付けます。ぜひこの機会をご利用ください。

●問い合わせ先 市民課 ☎248-1113

▶受付時間
午前8時30分～午後3時30分

▶ところ
熊本県運転免許センター 3階
(菊陽町辛川2655)



▶持ってくるもの
運転免許証、通知カード

※通知カードがない場合は受け付けできませんので、必ずお持ちください。